病　院　だ よ り　　2018年11月号　第372号

昭和大学病院　検索

昭和大学病院附属東病院　検索

発　行　昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者　昭和大学病院長　板橋 家頭夫
編集責任者　広 報 委 員 長　中村 清吾

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
ＴＥＬ：03-3784-8000（代表）

就任のご挨拶　脊椎外科センター　豊根（とよね） 知明（ともあき） 教授

このたび、「脊椎外科センター」開設に伴い、センター長を拝命致しました豊根　知明と申します。

脊椎外科では、頚椎から腰仙椎（首から骨盤）までの背骨の病気や怪我による痛みや運動障害、首下がりや腰曲がりと呼ばれる脊椎の変形に対して、手術による改善を図ります。脊椎は、首から腰までの24個の椎骨とそれぞれをつなぐ椎間板という軟骨からなっており、屈曲・伸展・回旋運動が可能です。椎骨の中心には手の指ほどの太さの脊髄神経が納められており、椎間板から手脚と内臓に分布する神経根が出ていきます。

当センターではさまざまな症状の原因を正確に診断し、患者様のおからだへの負担の少ないものから順に適切な治療を行い、「痛みをやわらげ麻痺を防いでいく」ことによって、皆様の健やかな生活を守っていくためのお手伝いをさせていただきます。

・センターの今後の方針

私は、2012年に日本低侵襲脊椎外科学会、2018年に日本成人脊柱変形学会の会長を務めさせていただきました。この２つの学会は脊椎外科において対極に位置しており、前者は椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症に対する内視鏡・低侵襲手術を、後者は腰曲がり・首下がりと呼ばれる病態に対する矯正固定術を中心に据えています。それゆえ、当センターでは脊椎外科の対極に位置する双方の分野を網羅することにより、あらゆる脊椎外科手術を行うことができ、様々な選択肢の中からそれぞれの患者様にとって最適な治療を提供してまいります。センターには６名の常勤脊椎外科専門医が勤務し、内視鏡手術から脊柱変形手術まで、高難度な手術の経験を豊富に有するチームとなっています。脊椎に由来するあらゆる痛みや麻痺の原因を正確に診断し、それぞれの病態にあわせた最適な治療法を選択することにより、皆様の症状の改善、QOL（生活の質）の向上を図ってまいります。

【プロフィール】

1961年生まれ、筑波大学附属小・中・高等学校（東病院長の稲垣教授は私の先輩です）を経て、1985年に千葉大学医学部を卒業し、整形外科に進みました。

その後、脊椎外科医を志し、君津中央病院整形外科部長、帝京大学准教授（2005年）・教授（2006年）を経て、2014年に本学に赴任させていただきました。

呼吸機能の温存を心がけ、QOL を大切にします

診療体制

原発性肺がんや転移性肺がんを主体とする悪性肺腫瘍、良性肺疾患、縦隔腫瘍、さらに近年増加傾向にある悪性胸膜中皮腫、胸壁腫瘍、また、若年男性に多い自然気胸などの呼吸器疾患、膿胸に対する外科治療を中心に行っています。

手術は呼吸機能の温存を心がけます。たとえば、中枢気道（気管や太い気管支）の病変の切除にはその末梢の気管支、肺の合併切除を余儀なくされます。このような場合我々は中枢気道の切除後、気道の再建術を行って呼吸機能を温存するようにしています。さらに末梢肺発生の小型肺がんについては将来肺がんが多発することも視野に入れて切除範囲を適切に判断しています。

肺がんに対する胸腔鏡手術は手術合併症が致命的になることがあるため、必要最小限の開胸を併用しています。ごく小さい肺がんでは胸腔鏡で切除することもあります。

自然気胸手術は可能な限り完全鏡視下手術で行っています。自然気胸は一般に再発率が高いため前駆病変に対する凝固療法、手術終了時の人工胸膜の使用など再発を抑制するための治療を加えています。また、当診療科が中心になって全国の施設に呼びかけて自然気胸の患者さんに診療情報を書き込んだカードを渡し情報の共有化を図っています。

特徴的な診療領域

・肺がんに対する気管支・気管形成術、血管再建手術

心臓に近い部分（肺門部）の肺がんは気管や太い気管支、大血管へ浸潤しており、これらの切除が必要になることがあります。しかし切除したままでは呼吸機能に障害が出ることがあるので、可能な限りがんの浸潤のない気管･気管支･大血管は温存します。そのために中枢の気道と末梢の気道の吻合、太い血管を末梢の血管と吻合するような手術を行います。

・胸腔鏡下肺部分切除術

ごく小さく淡い陰影の肺がんの病巣を切除するのに用いる手術です。がんは残さずに切除したほうが良いのですが、淡い陰影の肺がんは多発することがあります。これは転移ではありません。最初の手術でがんを含めた肺を大きく切除してしまうと 2 回目、3 回目にがんが出てきたときに手術ができなくなってしまいます。

そこでがん病巣を含めた肺組織を必要最小限に切除し、超拡大内視鏡と迅速病理検査でがんを残していないことを確認します。

・微小肺結節に対する胸腔鏡下肺生検

近年では CT の性能が向上し５㎜以下の微小結節が指摘されことも多いですが、気管支鏡や CT 下生検では診断が困難です。しかし本法を用いれば胸腔鏡下肺生検を実施することが可能です。

呼吸器外科　診療科長：鈴木　隆（Takashi Suzuki）
趣味：旅行、ドライブ

チーム医療体制を更に強化し、呼吸器外科だけでなく呼吸器内科や腫瘍内科、関連各科、ならびに一般病棟･ICU･HCU･手術室･呼吸器センター外来などの看護師･事務員、理学療法室や各種検査室･栄養科などのメディカルスタッフと密な連携を保ち、内科･外科のいずれかに偏ることなく、その症例に適した診断･治療法の選択を心掛けています。

No.10「専攻医」

今月は「　専攻医※　」のこの方をご紹介します。

脳神経内科
専攻医　小菅　将太

※　専攻医とは？
　特定の診療領域について十分な知識や経験を持って適切な医療を提供できる「専門医」になるため、専門医研修プログラムに登録、実践中の医師を「専攻医」と呼びます。

医師を目指した理由を教えてください。

　私の両親は共に医師であり、父は内科医、母は小児科医として自宅の１階でクリニックを開業しています。
　そんな親の背中を見て育ったからか幼い頃から自然と医師を目指すようになりました。

現在はどのような業務をしていますか。

　現在は自身のサブスペシャリティである脳神経内科に所属し、診察・検査・治療等の診療業務を行っております。病棟業務に加え、日直として救急外来での診察や他科からの依頼への回答等も行います。また月４回の当直の際は脳卒中の救急搬送が多く、脳外科と協力して迅速な初期対応を行う必要があり、専門的知識が求められるため日々勉強不足を痛感させられます。

今後、どのような医師を目指しますか。

　脳神経内科では脳梗塞の急性期からパーキンソン病等の神経難病の慢性期まで様々な疾患を扱っていますが、いずれの患者さんも神経疾患だけでなく複数の内科疾患を抱えています。そのため幅広く内科の知識を身につけ、包括的に患者さんを治療できるようになることが私の目標です。内科専攻医一期生として不安なところもありますが、既に 10 月から内科のローテートが始まっており、私も来年からは他科を回りながら、さらなる向上に努めます。

部署 PR コーナー　No.11「クオリティマネジメント課」

抗菌薬適正使用支援チーム（AST）って知っていますか？

＜AST とは＞

当院では、感染管理部門の中に、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）を設置しています。

近年、薬剤耐性（AMR）として抗菌薬が効きにくい菌の増加が世界的に問題となっており、その原因のひとつとして、抗菌薬の乱用があります。AST は医療者が患者さんに対して抗菌薬を適正に使用できるよう支援する活動を行っています。

チームは感染症専門医、薬剤師、臨床検査技師、看護師を中心として多職種で構成されています。

入院患者さんをメインに活動をしていますが、外来でも医師が適正に抗菌薬を使用しているか確認しています。入院患者さんの中で広域抗菌薬を使用している患者さん(224 名/9 月)、血液の培養で菌が検出されている患者さん(61 名/9 月)については、全例確認・必要時介入を行っています。

＜感染症のことは何でもご相談ください！

当院は感染症専門医が 4 名所属しており、様々な感染症を網羅的に診ることができます。患者さんからのお問合せはもちろんのこと、当院以外の施設の感染症患者さんについても相談を受け付けています。

抗菌薬の選択や治療･評価に関して皆さまの診療・治療のお役に立てればと思いますので、気軽にご相談頂けたらと思います。

開催報告　救急業務功労者表彰式を行いました

９月６日（木）昭和大学病院にて、救急業務功労者表彰式が行われました。

この表彰式では例年、荏原消防署より昭和大学病院の医療従事者に感謝状が贈られます。

今年度は、救命救急センターに携わる医師と看護師、薬剤師の計３名に感謝状が贈られました。

【表彰者】

- 原田　拓（総合診療科　医師）
- 米山　正志（救急病棟　看護師）
- 玉造　竜郎（薬剤部　薬剤師）

開催報告　クリニカルセミナーを開催いたしました

平成３０年１０月１３日（土）に近隣８医師会の共催のもと、第３３回昭和大学クリニカルセミナーを開催いたしました。

＜板橋病院長による開催挨拶＞

今年度も多数の近隣医療機関の先生方にご参加いただき、大盛況で幕を閉じました。

講演会では「睡眠医療センター」、「てんかん診療センター」、「がん診療」と３つのカテゴリに分け、６演題の講演を行いました。

懇親会では限られた時間ではありましたが、医療機関の先生方と顔の見える連携を通じて、情報交換と親睦を深めることができました。今後も昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院では、地域の医療機関の先生方との連携を今まで以上に深め、医療連携を推進していきます。

＜講演会場の様子＞

ご案内　「世界糖尿病デー」のご案内

11 月 14 日は『世界糖尿病デー』です。

世界糖尿病デーは、世界的に拡大している糖尿病に対する注意喚起を目的に 2006 年に国連により設定されました。

この日を中心に全世界で繰り広げられる糖尿病啓発キャンペーンは、160 カ国 10 億人以上が参加する世界でも有数な疾患啓発の日となっており、糖尿病の予防や治療継続の重要性について市民に周知する重要な機会となっています。

当院でも１１月８日に糖尿病デーイベントを開催いたします。お立ち寄りの際にはぜひご参加ください。

世界糖尿病デー

「もっと知ろう！糖尿病と骨粗鬆症 もっと知ろう！自分のからだ」

開催日時：2018 年 11 月８日（木）　9:00～16:00
開催場所：昭和大学病院附属東病院　１階玄関付近ほか

～糖尿病教室～
１回目：10：00～10：30
２回目：15：00～15：45

～内容～
・「糖尿病って本当はどんな病気？」
・「食事療法のコツ」　※２回目のみ
・「実践！継続できる運動療法！」
その他、医師や管理栄養士による個別相談や展示等

【昨年度の様子】

無料 HbA1c 測定コーナー

糖尿病とロコモに関する展示

患者さんのご意見・ご要望

ご意見･ご要望	回答	回答部署
外来検査の説明をしてくださった看護師さんの手際がよく、話も分かりやすいのでとても感心しました。こちらが嬉しくなるほどでした。ありがとうございました。	この度は外来看護師の対応にお褒めの言葉を頂きありがとうございます。検査を受ける患者さんの様子や理解状況を確認させていただきながら、ご不明な点がないように説明しております。今後も分かりやすい説明をこころがけ、安心して治療を受けていただけるよう努めて参ります。 貴重なご意見ありがとうございました。	看護部
血液検査結果の項目の表記を全て日本語にして下さい。	検査項目の名称につきましては、従来から一般的な略号を用いており、患者様には分かりづらい表記となっておりました。この度のご指摘により、患者様向けの検査結果については順次日本語表記へ変更いたします。当面は日本語と略号を併記いたしますが、日本語での表記が困難な項目もございますのでご了承ください。 貴重なご意見ありがとうございます。	臨床検査室

平成30年11月掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数
65件

- 態度・接遇
- 予約
- 待ち時間
- 食事
- 会計システム
- 売店
- 環境（清掃･設備備品･エレベーター）
- 感謝
- その他

コンサート　院内コンサートのご案内

編集後記　乳腺外科　中村（なかむら）　清吾（せいご）

猛暑に続き、幾多の台風を経て、漸く過ごし易い秋に入りました。「実りの秋」「運動の秋」そして「読書の秋」等、人間の成長に欠かすことのできない貴重なシーズンの到来です。

先日、手術のために江東豊洲病院を訪れた際、周囲のおびただしい建設ラッシュに驚くとともに、東京オリンピック以降の景気はどうなるのか、逆に心配にもなりました。

少し食べ過ぎたと思ったら、程よく汗をかく運動を行うこと。何事もバランスが大切です。

お知らせ　休診のお知らせ

11 月 15 日（木）は、本学の創立記念日のため、休診とさせていただきます。
ご来院の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

昭和大学病院・附属東病院の理念

- 患者さん本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

ご意見・ご要望につきましては、メールアドレス：tayori@ofc.showa-u.ac.jp までお願いいたします。

病院広報委員会委員：　飯田　真由、磯飛　雄一、稲垣　克記、大嶽　浩司、五藤　哲、佐藤　久弥、白井　敦、鈴木　隆、鷲見　賢司、戸塚　るり、富田　英、中村　綾子、中村　清吾、平野　勉、吉田　仁、渡邊　聡（50 音順）